

創る

しずおか企業群

新素材のねじ

興津螺旋
(静岡市清水区)



柿沢 宏一社長

■製品の特徴 住宅建築に主に使われるステンレスねじの国内トップメーカー。新素材への挑戦を続け、チタン合金ねじの量産化、アクリル製ねじの開発に成功した。



◇会社概要 1939年創業。木ねじ工場としてスタートしたが、60年代にステンレスねじの製造を始め、80年に専業に移行した。2002年、高品質で高効率な生産を行う企業に贈られる日本プラントメンテナンス協会のT P M賞を受けた。静岡市清水区興津中町1424

材独自の色を生かした6色のねじの製作に成功。

強度が高く、競技用自転車などに使われている。アクリル製ねじは「顧客の期待に応える」という同社の姿勢から生まれ

美しさと強度を追求

た。透明でデザイン性に富み、ユニクロ銀座店の商品棚に利用されている。

■需要・販路 海外品との競争が激化する中、国産素材を使う品質の良さと短納期で取引先から信頼を得ている。住宅需要の大幅な増加は見込めない中、顧客から入る規格外の設計にも積極的に取り組む。ステンレス素材のキャップボルトも2007年に開発し、売り上げ全体の1割まで販売が伸びた。「形状にもこだわり、少しでも美しいものを作りたい」と柿沢宏一社長(39)は話す。

政治経済しずおか